Future

三郷市立栄中学校
第２学年通信　第７号
令和２年６月19日（金）

◆学年目標◆　『上笑気流』　自分と　仲間と　笑顔と共に

★人は、自らを成長させるために学び続ける★

学校が再開されて三週間、ようやく日常を取り戻した今、七月末までの１学期は、失われた四月、五月を取り戻すためにも学習にとって最も大切な時です。読書をはじめ、学びに最も適した環境を仲間と力を合わせて創造しましょう。君たち一人一人が、毎日の授業を大切にし、真剣に学習を進めることを何よりも大切にしてほしいと心から願います。**『学んだことの確かな証は、自分が変わることだ・・・。』**の哲学者の言葉を思い出します。１時間単位の授業の中で、自ら真剣に学ぼうとしたときにだけ、確かに学ぶことができるのです。このことは、常に受け身の授業態勢であってはならないということです。主体的に意欲を持って学習課題に取り組む時、「**わかる喜び、できる喜び**」を味わうことができるのです。また、学習内容を正しく理解し、知識として覚えることも大切です。暗記は、ただ「苦手だ。」と、逃げる姿勢ではなく、基礎・基本として定着させることがやがて広く知識を求めていくことに必ずつながります。**『わかること、できること』**に意欲的であるためには、旺盛な好奇心が必要です。豊かな感性の枝葉を大きく広げ、何事にもチャレンジしていくことです。そこには、必ず心を躍らせる新しい発見や気づき、確かな学びが生まれてきます。そして、**学びを通して、新しい自分に生まれ変わっていくのです**

◆期末テスト対策の学習計画の立て方◆

頑張ろう!

★　自分の学習計画表をチェックしてみよう！

■自己チェック項目■

① 不得意教科に重点を置く。
② 得意教科と不得意教科を組み合わせる。
③ 見通しを持って具体的な学習内容を計画的に立てる。
　・教科書読みとチェック→・ノート整理→
　・理解して覚える→・問題集で自己チェック
④ 単位時間を３０分程度とし、学習内容を工夫する。
　※漢字練習・英語の単語練習・理科・社会の用語のチェック等は、短時間で繰り返す。
⑤ 無理な計画を立てず、気分転換や遊び感覚でできる学習も組み入れる。
⑥ 計画がどれだけ実行できたかチェックし、再計画を立ててやり切れるように努力する。

◎期末テスト日程◎

７月10日(金)①英②国③理④技家
７月11日(土)①社②数③音体

学力向上

学び続ける

・授業準備は着実にする。(忘れ物を無くす)
・提出物は、期日を守って提出する。
・家庭学習は計画的に進める。

【学習面で目指す生徒像】　『基礎学力の向上を目指し、自ら学ぶ生徒』

① 学習目標を明確にしよう。【将来の夢や希望･進路を明確にすることが大切】
　『進路学習』をしっかりと進め､自分を見つめ､将来の夢や希望を描こう。
② 毎日の学習を大切にし、真剣に学習を進めよう。【集中力・継続する力･忍耐力を】
③ 家庭学習を習慣化し、内容も充実させよう。【毎日の積み重ね・リズムある学習を】
④ 不得意教科克服に向けて努力しよう。【特別な計画と予習復習を】
⑤ 自分なりの勉強方法を確立しよう。【自分の実力に合った基本学習を】
⑥ 自分の能力･発達の可能性を信じよう。【かけがえのない自分を大切にする】

《　今後の日程　》

６月 22 日（月）	⑤課題テスト理科・社会	⑥水１
23 日（火）	朝　栄中検定	
27 日（土）	水 234	
30 日（火）	集金日	

7月20日(月)　二年生保護者会

◆★☆★子どもの心に心を寄せる★☆★◆

■ 保護者の皆さんへ ■　～思春期の危機を乗り切るために～

思春期である中学生は、自分なりの考えをもち、個性も強くなり、時には親に反発したりすることも多くなってきます。しかし、生徒たちは経験不足であり、大人たちからの助言や支えを必要としています。親からの援助も必要です。常に適切な援助ができる親子関係を保つことが大切です。日々の何気ない言葉がけの中にも、ありのままの子どもを受容するだけの心のゆとりがなければなりません。ちょっとしたストレスから言葉を荒げたりすると子どもは敏感にそれを捉え心を乱します。こうした心の行き違いが度重なっていくと親子の関係は少しずつ気まずくなっていくことに違いありません。まさに子どもの言動は、親の心を映し出す鏡なのです。子どもの心に自分の心を寄せていくことが大切なことは、何よりも子どもを思いやる第一歩だからです。親子の対話を大切にとか、人間的なふれあいを何よりも大事にとか言われますが、最も重要なことは、日々の暮らしの中で、この心配りがどれだけできるかということだと思います。

〔例〕進路を巡る問題　～アドラー心理学に学ぶ～

「親の期待に応えたい!」しかし、「自分の夢を諦めるのか・・・」

→**「課題の分離」**が必要・・・自分と他者の課題を切り離すということ

自立
親離れ

「これは誰の課題か？」

子離れ

Ｑ最終的な責任を負うのは誰？
Ｑ最終的な結論を出すのは誰？
　・子どもの課題・・・「自分の人生!」
　・親の課題・・・・・「子どもに対する思い!」

※親子関係こそお互いに尊重し合う関係維持のために課題の分離が大切である。
※「涼しい親子関係」を築くことが大切である。
　『自分の人生を生きる』(親の期待に応えるために生きるのではない!

★お互いを思いやって苦労しながら親子関係を再構築することが極めて重要です!